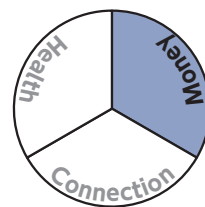
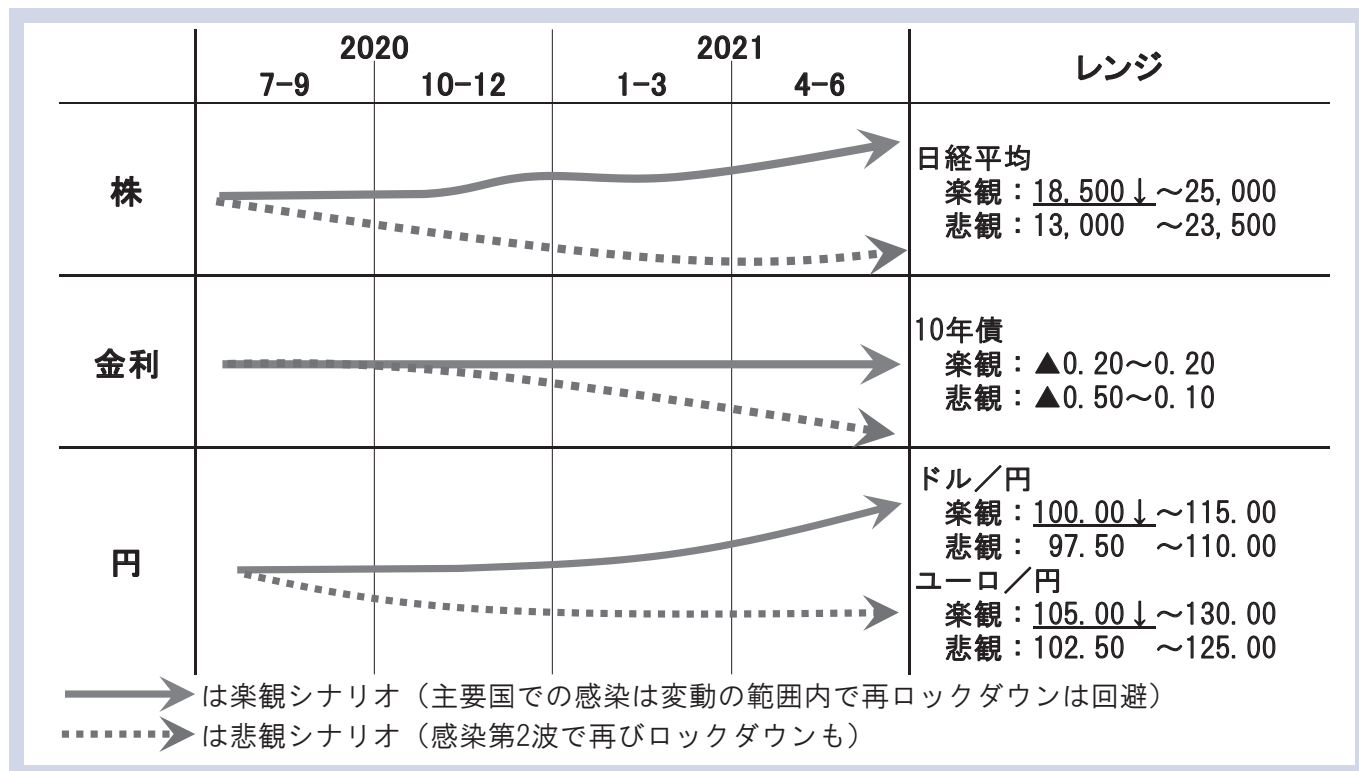


向こう1年間の市場予想 (8月3日時点)



向こう1年間の市場予想イメージとレンジ



予想コメント

	コメント
株式	国内株式は、国内の新規感染者が再増加傾向を強めており、消費行動の変容などによって回復のペースは遅れ気味となるリスクがある。一方で、各国の財政・金融政策が下支え役となり、当面は一進一退の推移か。
金利	日本経済は消費増税後の需要の落ち込みに加え、新型コロナウイルスの影響で、しばらく低迷が見込まれる。日銀は現状の超緩和的な政策を継続する見込みで、金利は超低水準での推移が続こう。
円	為替市場では、主要国における経済活動が徐々に再開されはじめたことで、リスク回避によるドル高圧力は後退した。もっとも、大きなダメージを負った景気の本格回復には時間がかかる見込みで、世界的な超緩和政策は当面継続すると予想される。ドル円相場は横ばい圏での推移が続こう。

(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。レンジについては、前月号から変更した値に下線を引いております。(上方修正: ↑ 下方修正: ↓)